

「橋梁用埋設型排水柵」 ジョイントドレーン 取扱い説明書

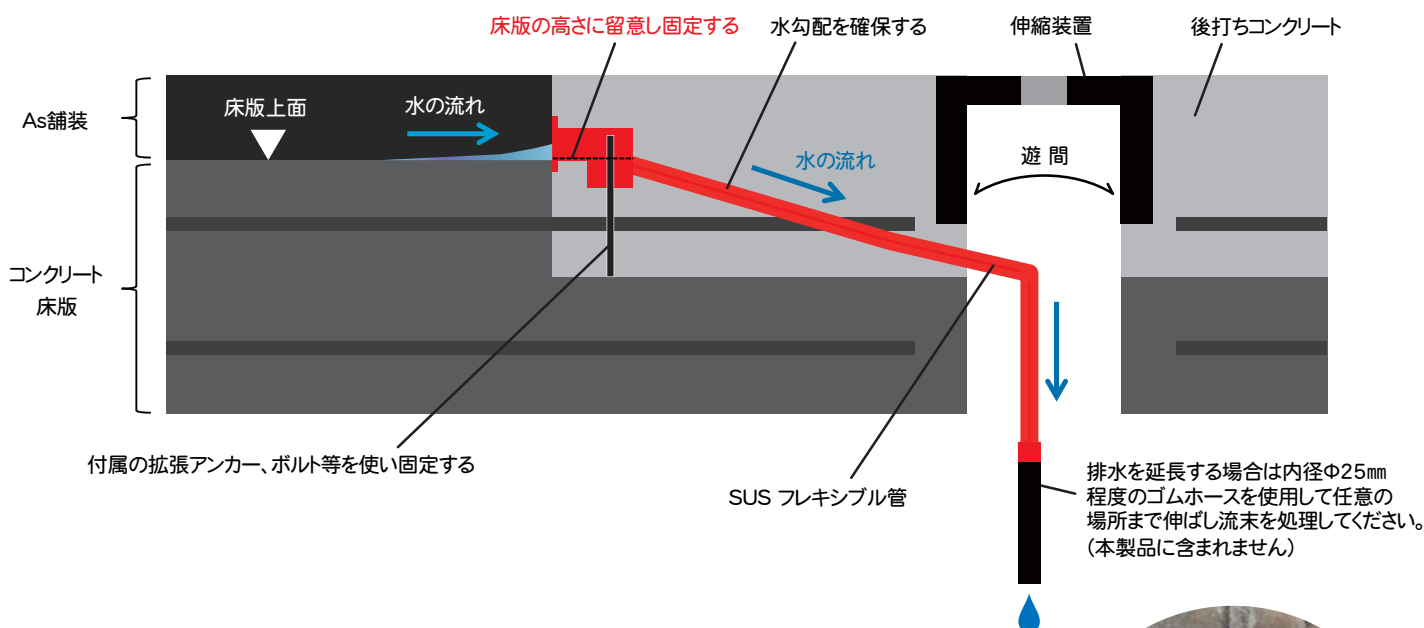
特許第 5522702 号

NETIS 登録番号 HK-140002-VE

国土交通省 令和元年度準推奨技術選定品

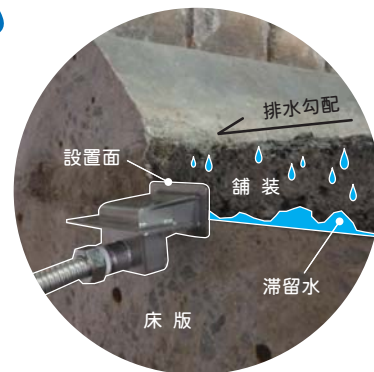
「ジョイントドレーン」を正しく使用する為に、この説明内容と概略図を参考にすると共に内容をよく理解のうえ正しくご使用ください。

概略図



本説明は、伸縮装置の取換え工事と同時に施工する場合とします。

- ①後打ちコンクリートのハツリを行い、既設の伸縮装置を撤去します。
- ②所定の寸法までハツリを行ったのち、ジョイントドレーンの設置位置の状態を確認します。
※横断勾配の一番低い場所をジョイントドレーンの設置位置とします。
※ジョイントドレーンの設置面に凹凸がある場合は平滑となるように仕上げを行う。
- ③拡張アンカーとボルト類の付属品を使い、ジョイントドレーンを固定します。
※SUSフレキシブル管は遊間の中を通して沓座方向へ配管しておきます。
※ジョイントドレーンの集水口の高さを床版面に合せ固定します。
※設置面に隙間がある場合は、セメントペーストが流入しないように速乾パテ材などで止水してください。
- ④新設の伸縮装置を設置します。
- ⑤後打ちコンクリートを打設します。
※ジョイントドレーン周辺のコンクリートは入念に締固めを行って下さい。
- ⑥橋梁遊間から下部の配管を行います。
※内径φ25mm程度のゴムホース等をホースバンドにて接続することが出来ます。(本製品に含まれません)
※流末処理は現場状況に応じた経路で処理してください。
- ⑦降雨後に問題なく排水されていることを確認して下さい。



【その他注意事項】 ※ 橋梁の遊間が30mm以下の場合には本製品を使用することができません。
※ 埋設ジョイントに使用する場合耐熱シリコンホース仕様となりますので別途お問い合わせください。
※ 性能向上のため、掲載されている製品の仕様等を予告なく変更する場合がございますのであらかじめご承知ください。

製造・販売元



中大実業株式会社

技術協力



西日本高速道路メンテナンス関西株式会社